データに、物語を。

2026年11月25日

各 位

上場会社名　株式会社 ODKソリューションズ
代表者　代表取締役社長 勝根 秀和
（コード番号　3839）
問合せ先責任者　常務取締役 作本 宜之
（TEL　06-6202-0413）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年４月30日に公表した業績予想を下記のとおり、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2027年3月期通期連結業績予想数値の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	460	500	300	36.61
今回修正予想(B)	6,300	230	280	100	12.20
増減額(B-A)	△700	△230	△220	△200	
増減率(%)	△10.0	△50.0	△44.0	△66.7	
(ご参考)前期実績（2026年3月期）	6,657	606	659	139	17.04

修正の理由

2027年３月期通期連結業績予想につきましては、下記の要因により業績予想を下回る見込みとなりました。

売上高は、医療関連サービスにおける案件拡大に向けた取組みや教育業務における新規大学向け決済ソリューションの営業活動を推進してまいりましたが、今年度中の導入が困難な状況となりました。加えて、既存案件の業務範囲拡大及び新規受託も未達となった結果、当初の売上計画を下回る見込みです。また、新サービス『iStudy AIシリーズ』におきましても、販売の立ち上がりが遅れております。さらに、NINJAPAN株式会社においては、新卒人材紹介事業の展開を計画しておりましたが、直近の業績動向を鑑み、事業ポートフォリオ見直しの一環として同事業からの撤退を決定いたしました。

利益面におきましては、かかる状況を踏まえ、外部要員費の削減や広告宣伝費の抑制等に努めたものの、減収による影響を吸収するには至らず、営業利益及び経常利益ともに前回発表予想を下回る見込みとなりました。

さらに、当第２四半期連結会計期間におきまして、NINJAPAN株式会社に係るのれん残高及び事業用有形固定資産の全額に対し、減損損失47百万円を計上いたしました。これにともない、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、当初の計画を下回る見込みとなりました。

これらの結果、2026年４月30日に公表した2027年３月期通期連結業績予想を修正いたします。

＜業績予想に関する注意事項＞

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上